

## 2008年度末 サロン2002 理事会 報告

- 【日 時】2009年2月28日（土）～3月11日（水）※昨年度は3/13～3/18、一昨年度は3/15～3/20に開催  
【会 場】ネット空間（メールの交換で議事進行しました）  
【出 席】理事：麻生征宏 安藤裕一 田中俊也 徳田仁 中塚義実 本多克己  
監事：齋藤健司  
オブザーバー：運営委員…川井寿裕（会計・名簿） 湧田龍治（メーリングリスト） 高田敏志  
（シンポジウム事務局） 岸卓巨・室田真人・宮川淑人・安松幹展  
注）理事・監事以外に、運営委員にオブザーバーとして加わっていただいた。

### <年度末総会の位置づけと今後の日程（確認）>

理事会に引き続き、ネット上で総会を開く。全会員に「2008年度末 サロン2002理事会報告」を送信し、一定期間を設けて意見をいただく形で進行する。特に問題なければ、理事会報告がそのまま総会報告となる。

ただし今回は、役員選挙があるので、これについては投票していただくなくてはならない。投票用紙を提出していただく形である。提出先は、2008年度理事長（中塚義実）と監事（齋藤健司）としたい。投票数の過半数で選定されたこととなる。

「2009年度会員募集（更新）手続き」は、総会を経たのちに開始したい。

整理すると、今後の日程は次のとおり。

- ◆2008年度末理事会期間 … 2月28日（木）～3月11日（水）  
（2007年度は3/13～3/18、2006年度は3/15～3/20、2005年度は3/10～3/18）
- ◆2008年度末総会期間 … 3月12日（木）～22日（日）  
（2007年度は3/19～3/25、2006年度は3/21～3/28）
- ◆2009年度会員募集期間 … 3月23日（月）～4月21日（火）  
（2008年度は3/26～4/21、2007年度は3/21～4/21）
- ◆2009年度名簿および2008年度公開シンポジウム報告書発送 … 5月連休後（総会前）  
（2007年度公開シンポジウム報告書は、2008年度中に会員に発送）
- ◆2009年度総会 … 5月9日（土）前後 or 5月16日（土）前後  
（2008年度は5月10日（土）、2007年度は5月20日（日）、2006年度も5月20日（土））

### <理事会報告 目次>

- I. 2009～2010年度役員選挙について（報告・投票依頼）
- II. 2009年度会員募集（更新）手続きについて（審議）
- III. 運営委員の募集について（報告・依頼）
- IV. 「出張サロン」等における旅費の扱いについて（報告・審議）
- V. 2008年度事業及び決算（中間報告）
- VI. その他—会員数と会費納入について

## I. 2009～2010 年度役員選挙について（報告・投票依頼）

現在の役員（理事6名、監事1名）の任期は2007～2008年度であり、3月末日をもって任期満了となる。改選にあたって、「役員を選任手続に関する規定」に従い、「役員候補者選考委員会」が組織された。

2009.1.20.（中塚義実）

サロン2002理事（麻生様、安藤様、田中様、徳田様、本多様）および監事（齊藤様）各位

役員選考委員（田中俊也様、徳田仁様、鈴木崇正様、高橋義雄様）各位

昨日送信したメールの回答が理事の方々からすべて得られ、「異議はございません」「了解」「了解」とのことでした。この時点で「理事会の議」を経たものとし、「理事長が委嘱」の段階に入ります。

### 委嘱状

2009～2010年度「役員候補者選考委員」を、次の方々に委嘱します。

徳田 仁（理事より）

田中 俊也（理事より）

鈴木 崇正（理事以外の会員より）

高橋 義雄（理事以外の会員より）

なお、この委員会は、「役員を選任手続に関する規定」第2条第4項より、「総会において役員が選任された日をもって廃止」となります。よって任期は3月末（現時点で未定）の総会終了時までです。

よろしく申し上げます。

2009年1月20日 サロン2002理事長 中塚義実

同委員会で検討した結果、2月4日に役員候補の選考が終了した旨の連絡があった。

2009.2.4. 「次期役員候補選出の報告」役員選考委員会より

サロン2002 中塚理事長殿

おはようございます。

昨日、次期役員選考委員会において役員候補の選考が終了しましたので以下の7名の役員候補を報告いたします。

【役員候補 7名（敬称略）】

■理事候補（6/6名） 中塚 義実、本多 克己、田中 俊也、高橋 義雄、阿部 博一、高田 敏志

■監事候補（1/1名） 斎藤 健司

尚、役員就任の了解は全候補ともとれています。

サロン2002 2008年度次期役員選考委員会

徳田仁、田中俊也、高橋義雄、鈴木崇正

3月11日付で理事全員の承認を得たので、理事会案として総会へ附議する。

### <2009～2010 年度役員を選任について>

添付された「役員を選任手続に関する規定」をお読みいただいた上で、以下の要領で、3月12日（木）～22日（日）の期間に投票してください。投票者の過半数を持って選任されたものとします。

投票用紙は、中塚義実（2008年度理事長）[ynakatsuka2002@kza.biglobe.ne.jp](mailto:ynakatsuka2002@kza.biglobe.ne.jp) と齊藤健司（2008年度監事）[sportlaw@taiiku.tsukuba.ac.jp](mailto:sportlaw@taiiku.tsukuba.ac.jp) までお願いします。

\*\*\*\*\*提出用\*\*\*\*\*

<役員候補者投票用紙>

氏名

1. 全員を選任する。
2. （氏名）氏を除いて選任する
3. 全員を選任しない

\*\*\*\*\*提出用ここまで\*\*\*\*\*

## Ⅱ. 2009年度会員募集（更新）手続きについて（審議）

2009年度の会員募集（更新）手続きをどのように改善するかを理事会で議論した。

ポイントは「手続き」と「担当者」である。

### 1. 手続きについて

従来どおり、「2009年度会員名簿の原稿を送る」と「2009年度会費を納める」ことが入会・更新には必須。退会の意思表示をしない限り、会員は継続であるが、会費納入がサロン会員の義務であると同時に、名簿の更新は誰もができる最低限の「GIVE」であるとの考えを確認した。

名簿原稿項目は次の通り。（※印は必須）。

※1) 氏名（フリガナ）

2) ホームページに掲載できる自己紹介（掲載しない場合は「掲載しない」と明記する）

3) 現在の職業（記入しなくてもよい）

※4) サッカー・スポーツとの関わり

※5) 郵便番号と住所（自宅or勤務先orその他。複数登録も可）

6) 電話番号・FAX番号（自宅or勤務先orその他。複数登録も可）

※7) 電子メールアドレス（自宅or勤務先orその他。複数登録も可）

8) 現在関心を持っているテーマ

※9) 自己PRなど

10) 検索性

①主に関わるスポーツ種目・文化活動（例：サッカー）

②関わり方（例：少年サッカー指導）

③主たる活動地域（例：東京都墨田区）

### 2. 担当者について

長年にわたって担当していただいた川井氏が、「今後のサロンの作業、自らの時間的な余裕、サロン会員への影響等（できもしないのにできると引き受けてしまうと、反対にできなかった時に大きな迷惑をかけてしまう）を考慮した場合、可能であれば、きりのいいところで次の方にバトンタッチしたいというのが本音です」（川井）とのこと。

そこで、会計・名簿を担当していただける方を、運営委員として募集したい（次項）。

## Ⅲ. 運営委員の募集について（報告・依頼）

前記のとおり、運営委員（会計・名簿担当）の川井氏から「可能であれば、きりのいいところで次の方にバトンタッチしたいというのが本音」（川井）との申し出があった。また、メーリングリスト担当の涌田氏からも、「MLへの登録、修正作業など臨機応変に対応する時間的余裕がございません。生活環境が変化したため…（以下略）」（涌田）との理由から、運営委員（メーリングリスト担当）辞退の申し出があった。

運営委員は、「理事会の議を経て理事長が委嘱する」ことになっているが、まずは現会員から、運営委員の立候補を募りたい。立候補者は、現理事長の中塚まで申し出ていただきたい。

参考までに、これまでの役員・運営委員を示す。

## サロン2002 役員・運営委員一覧(2000～2008)

		2000	2001	2002	2003			2004	2005	2006	2007	2008
<b>役員</b>	<b>代表者</b>	中塚義実	中塚義実	中塚義実	中塚義実	<b>理事</b>	<b>理事長</b>	中塚義実	中塚義実	中塚義実	中塚義実	中塚義実
	<b>代表代行幹事</b>	高橋義雄	高橋義雄	笹原勉	本多克己		<b>副理事長</b>	本多克己	本多克己	本多克己	徳田 仁	徳田 仁
	<b>幹事</b>	鈴木崇正	鈴木崇正	本多克己	笹原勉		<b>理事</b>	笹原勉	笹原勉	徳田 仁	本多克己	本多克己
		仲澤眞	仲澤眞	内田正人	内田正人			田中俊也	田中俊也	田中俊也	田中俊也	田中俊也
		長岡茂	長岡茂	長岡茂	長岡茂			安藤裕一	安藤裕一	安藤裕一	安藤裕一	安藤裕一
		堀美和子	堀美和子	宇都宮徹彦	宇都宮徹彦			宇都宮徹彦	宇都宮徹彦	宇都宮徹彦	麻生征宏	麻生征宏
	<b>監査役</b>	笹原勉	笹原勉	仲澤眞	仲澤眞		<b>監事</b>	<b>監事</b>	高橋義雄	高橋義雄	高橋義雄	齋藤健司
<b>会計兼名簿</b>	川井寿裕	川井寿裕	川井寿裕	川井寿裕	<b>運営委員</b>	<b>会計・名簿担当</b>	川井寿裕	川井寿裕	川井寿裕	川井寿裕	川井寿裕	
						<small>(2007年度からは別)</small>			岸 卓巨	岸 卓巨	岸 卓巨	
<b>ML管理人</b>	涌田龍治	涌田龍治	涌田龍治	涌田龍治		<b>メールリスト担当</b>	涌田龍治	涌田龍治	涌田龍治	涌田龍治	涌田龍治	
<b>HP担当</b>	本多克己	本多克己	本多・津田綾女	本多・津田綾女		<b>ホームページ担当</b>	本多・福岡哲朗	本多・福岡一山田	本多・山田智子	(本多克己)	(本多克己)	
						<b>事業担当</b>	麻生征宏	麻生征宏	麻生征宏	高田敏志	高田敏志	
							内藤隆	内藤隆		室田真人	室田真人	
							中村敬	中村敬	中村敬	宮川淑人	宮川淑人	
						安松幹展	安松幹展	安松幹展	安松幹展	安松幹展		

### IV. 「出張サロン」等における旅費の扱いについて（報告・審議）

「出張サロン」等における旅費は予算化されているが、運用のためのルール化が為されていない。基準は、2008年3月に行われた「サロン in 高知」の際の考え方が基本となっている。

＜「サロン in 高知」における基本的な考え方＞

- 1) 「出張サロン in 高知」に参加する高知県以外の会員1名につき、上限3万円の旅費を用意する
- 2) 旅費の受給を希望する参加者は、3月28日（セミナー前日）までに理事長に申し出る。その場合は、何らかの任務（報告書作成など）を負うものとする。

これをもとに「サロン in 岡山」においては、①旅行日、②経路、③用務、④用務地、⑤支給額、⑥振込先、を本人が申請、理事会で審議の上で支給することとした。他の事業についても同様である。いつ、誰が、何に基づいて判断するのかについては引き続き検討したい。

#### ◆サロン in 岡山（2008年7月25日）

参加した3名は、いずれも任務を負っていたので支払い対象とする。合計78,850円。

##### ○中塚義実：東京～岡山（往復）

用務：サロン in 岡山コーディネーターとして

支給額：30,000円（上限額）

##### ○宇都宮徹彦：東京～岡山（往復）

用務：サロン in 岡山シンポジストとして

支給額：30,000円（上限額）

##### ○高原渉：大阪～岡山（往復）

用務：サロン in 岡山会員代表及び記録担当として

支給額：18,850円（内訳は略）

#### ◆サロン in 金沢（2009年1月18日）

参加者のうち、用務を担っていた土谷享・中塚義実（ともにシンポジスト）は、主催者である金沢21世紀美術館から旅費を受けたので、サロンからの支払いはなし。

◆公開シンポジウム（2009年1月31日）

演者の一人である宮明透は支払い対象とする。他の演者はいずれも近隣地なので対象外。

○宮明透：大分～東京（往復）

用務：公開シンポジウムのシンポジストとして

支給額：30,000円（上限額）

◆サロン in 那智勝浦

現時点で未定

## V. 2008年度事業及び決算（中間報告）

サロン2002規約第3条（事業）の各項目に照らして、概要を把握した。5月総会にて改めて行う。

### 1. 月例会

#### 1) 通常の月例会

一部変則的ではあったが（8月例会を7/31に、2月例会を1/31に開催）、毎月開催できた。「地域スポーツ」を大きな柱に据え、継続の「日本サッカー史をさぐる」とともに月例会を構成する方針があった。この方針は、出張サロンや公開シンポジウムに反映された。また、タイムリーな話題として、「2008年のビッグイベント」と題して北京オリンピックとEURO2008を取り上げた。5月は総会のみだが、月例会回数に含んでいる。

#### <2008年度月例会一覧>

回数	期日	参加者	参加費計	報告者	報告者謝金	報告書作成費	会場費	残金	テーマ	会場
138	2008.4.23.	8	8,000	中塚義実、土谷享	10,000	室田真人 5,000	0	-7,000	DUOリーグのトロフィーをアート感覚で	筑波大附属高校
139	2008.5.10.	7	0	総会のため特になし		中塚義実 5,000	?	-5,000	総会	味の素スタジアム・会議室
140	2008.6.27.	3	3,000	本多克己	10,000	根本いずみ★5,000	0	-12,000	サロン2002のホームページをリニューアルしよう	筑波大附属高校
141	2008.7.26.	24		出張サロンのため別会計					フジアーノ岡山のおゆみと今後	岡山国際交流センター・会議室
142	2008.7.31.	19	14,000	森山徹★、依藤正次※	10,000	依藤正次 5,000	0	-1,000	サッカーのいちジャンルとしてみるハンディキャップサッカー	筑波大附属高校
143	2008.9.25.	11	8,000	安藤裕一※	10,000	高田敏志 5,000	0	-7,000	2008年のビッグイベント①北京五輪を振り返って	筑波大附属高校
144	2008.10.30.	10	7,000	相原正道	10,000	朝倉雅史★ 5,000	0	-8,000	北京、ロンドン、そして東京へ	筑波大附属高校
145	2008.11.26.	29	19,000	庄司悟★、徳田仁※	10,000	廣重求★ 5,000	0	4,000	2008年のビッグイベント②EURO2008を振り返って	筑波大附属高校
146	2008.12.20.	20		上映会・忘年会のため別会計					お宝映像上映会兼忘年会	サッカー居酒屋「いなば」
147	2009.1.18.	40		出張サロンのため別会計					タグパートナーとしてのスポーツとアート	金沢21世紀美術館・会議室
148	2009.1.31.	62		公開シンポジウムのため別会計					地域からみたJリーグ百年構想	日本青年館・会議室
149	2008.3.29.			出張サロンのため別会計					中村覚之助と日本サッカーの夜明け	那智勝浦町体育文化会館・大集會室
	合計	233	59,000					-36,000		

本年度は、出張サロンが3回（岡山、金沢、那智勝浦）あったため、在京会員にとっては参加しにくかったかもしれない。また2007年度に2回、2006年度に1回開催された「関西サロン」が本年度は開催されず、在阪会員にとっても参加可能な月例会が少なかったと言える。月例会は地に足をつけた形で、毎月しっかりと行っていくべきだろう。学生も含め、会員の中には貴重な情報や問題意識を持っている方が大勢いる。いま一度原点に戻って、月例会の活性化をはかる必要がある。

運営面では、月例会担当（企画担当）理事（安藤・徳田）を置き、理事長とともに計画的に進めることが5月総会で確認されたが、実際にはうまく機能しなかった。

以下は担当理事からのコメントである。

#### （安藤理事）

出張サロンならびに公開シンポジウムについては、理事長のイニシアチブにより成果がみられた。一方東京で開催されたいわゆる通常の月例会については、企画をたてることと、テーマの方向性が必ずしもうまく連動せず、結果として演者の選定に時間がかかってしまい、早めに会員にアナウンスをすることもかなわなかった点は反省すべきである。

#### （徳田理事）

月例会についてですが、来期に向けて運営のガイドラインを作成しておくべきかと思えます。

人数は2名では不足。(中略)月例会担当システムは崩壊してしまったのが現状。月例会とシンポジウムを担当する3~4名の運営委員会をつくり、その中で予め月別に担当を割り振りしておき、企画立案とスケジュール調整しながら進めていくべきかと思います。

また、月例会の定義ですが、サロン2002のオリジナル(サロン2002の独自企画)と、他団体との合同企画(共催、抱合せ、相乗り、タイアップなどを含む)は別ものとするべきだと思います。

月例会・年12回のうち1回をシンポジウムとするなら、原則11回は独自で企画し、合同のものは月例会の枠外でやるべきだと思います。(忘年会も恒例化するなら、11回に含めるか別にするか決めておきたい)

立案(ネタだし)は広く会員から募集し、運営委員会が吸収。運営委員会でも独自に提案。運営委員会は当該月例会の内容を決定するに当たり、〇〇までに理事会の承認をとる(報告でも良いかも知れません)など。

現行では、どのタイミングで誰が決めるのか、はっきり決まっていないので、あいまいである。

いずれにしても、会員の新陳代謝を考えると、ホームページをうまく活用しながら、サロン2002の基本事業である月例会を発展・充実していく努力をすべきで、そのためにはある程度の決め事とシステム改革が必要だと思います。

## 2) 出張サロン

「地域スポーツ」を柱に据えたこともあり、「出張サロン」を岡山と金沢ですでに開催、3月は那智勝浦にて3回目の出張サロンを開催する。前2回は、各地域固有の課題に現地で触れ、また地元の方々との交流をはかることができ、大変有意義であった。3月も期待できる。次年度以降も積極的に出向いて行きたい。そのための予算化も為された。

予算化はされたが、「出張」の定義、執行のためのルールが整備されておらず、行き当たりばったりの観がある。簡単なものでよいのでルール化が必要だろう。

なお、ここでは「出張サロン」の呼称を便宜的に用いているが、この名称は地元にとっては不都合な言い回しであるので、「サロン in ●●」を正式には用いたい(理事会報告2008年度①参照)。

### (徳田理事)

(東京の)サロン2002が、地方へ赴いて月例会を開催するという「出張サロン」という概念をやめて、サロン2002はどこで開催する=たまたま今回は〇〇で行なわれる=「サロン2002in〇〇」という定義はこれでよいと思いますが、それならば意識して出張サロンという言葉が使わないように決めるべきですし、関西サロンの定義もきちんとしておくべき。別個な活動と考えるなら「関西サロン in 〇〇」もありえるわけですから。

## 3) 公開シンポジウム

「地域からみるJリーグ百年構想」を1月31日に開催した。事前準備がよかったのか、タイムリーな話題であったためか、参加者は62名と昨年の約2倍。2次会にも多くの方が参加され、本年度の大きな成果となった。現在、報告書の原稿を作成しており、2009年度名簿と同時に発送できるよう、準備を進めている。

なお、2007年度の公開シンポジウム「サッカー観戦を楽しもう スタジアム編」の報告書が、2008年度公開シンポジウム当日に完成した。2年続きのこの状況は、何としても改めなくてはならない!

まずは2008年度中に、本年度会員宛に2007年度報告書を送付する。2007年度公開シンポジウム報告書編集長の麻生理事と、運営委員の室田氏・岸氏・川井氏で連絡を取り合って作業を進める。

### (徳田理事)

公開シンポジウムのバックナンバーをHP上で販売できるようにしておきたい(会員以外も購入できる)。

## 2. プロジェクト

### 1) ホームページリニューアル・プロジェクト

月例会で一度取り上げ、会員の意見をいただきながら、本多氏がプロジェクトの中心となってリニューアルを進めた。9月1日から新しいホームページとなり、少しずつ改良を加えているところである。

実費 20 万円を支出した。

### 2) 公開シンポジウム

前記の通り。補助金は未確定。

### 3) その他

サロン 2002 の公認プロジェクトではないが、「DUO リーグのトロフィーがない！」プロジェクトは、サロン 2002 会員が担い、またサロン in 金沢でも取り上げた。

公認プロジェクトではないので補助金は発生しない。

## 3. サロンと目的を同じくする団体の事業への参加

1月の「サロン in 金沢」は、「金沢 21 世紀美術館」が主催するセミナーへの「協力」という形で開催した。

また、3月の「サロン in 那智勝浦」は、「日本サッカー史シンポジウムー中村覚之助と日本サッカーの夜明け」と題して、「筑波大学蹴球部同窓会茗友サッカークラブ」と「日本サッカー史研究会」が主催する事業に「協力」する形をとっている。

### (徳田理事)

繰り返しになりますが、この部分と月例会は分けて行なうのが良いと思います。また、タイアップ団体については、どこの団体とつながりがあるか会員がわかるように HP に記載しておきたい。「日本サッカー狂会」とのコラボは早いタイミングで考えたいと思います。先方は特に高齢化が進んでおりますので。。

## 4. ホームページの運営

5月の総会でホームページのリニューアルが決定し、本多克己氏を長としてプロジェクトを立ち上げ、準備することとなった。6月例会で議論し、その前後に Eメールで会員からの意見も聴取しながら準備を進め、9月1日にリニューアルオープンした。「明るくなった」「見やすくなった」「大変よい」と、好評である。

管理画面を作成して、理事・運営委員がトップページへの告知をタイムリーに更新できるようになるなど、管理面での利便性も大幅に向上した。また、月例会、シンポジウムなどの参加状況も把握できるようになったことで、月例会運営の事務軽減、活性化にも寄与した。

リニューアルについては実費 20 万円で作っていただいた。更新作業については、以前と同様、バナーを出すことで相殺されているという考え方のもと、本多氏の会社に請け負ってもらっている。

まだ掲載されていないコンテンツがあるので、少しずつ内容を増やしていきたい。会員のページについては、利用しながら改善点を出し合って、よりよいものにしていきたい。

### (本多理事)

アクセス数を確認したかったのですが、データ集計が間に合いませんでした。今後は、随時確認できるように設定します。

### (田中理事)

HP の更新もスムーズで、特にシンポジウム出席の有無を確認できるのは良かったかと思います。初顔合せでも、事前に名簿で情報入手できます。本来なら本多さんに HP 年間メンテナンス料（月 5 千で年間 6 万ぐらい）を支払うべきと、少し思いました。

### (徳田理事)

SEO 対策を含めて、ホームページ管理人を置くべきです。いろいろな意見（見づらい、更新されていない、情報が反映されていない etc）を誰に言えばよいのかわからないですし、問合せなどを振り分けたり、回答したりする担当も今のところありません（今は誰がやっていますか？）。

機能やデザインについての意見としては、新着情報＝現行ではインフォメーション？があまり更新されていないので、更新しやすいようにしたい。少なくとも、月例会の概要の掲載は向こう 2 ヶ月分、シンポジウムは通常の月例会と別に決まった時点で概要が掲載できるように。

月例会やシンポジウムの進捗状況や予告を新着情報として発信したい（頻繁に更新したい）。

デザイン的には、現行では写真が他の面積より比重が大きく、ぱっと見が、欧州サッカーのサポーターサイトに見える（かも？）。

写真も 2～3 ヶ月に 1 回は取り替えたいですし、面積的には新着情報、月例会告知、シンポジウム告知を増やしたい。

また、是非会員登録を HP 上でできるようにし、会員情報も CGI で入力・更新・修正できるようにしたい。将来、必ずやらねばならないことなので早いタイミングで取り掛かりましょう。会員にとっても年に一度わずらわしい作業をしなくてもすむようになります。

### (中塚理事長)

現行理事会では、ホームページの「管理」を本多克己氏が、「監査」を田中俊也氏が担っています。また、「理事・運営委員」が更新できるので、いろいろな意見は理事会に言ってもらえればよいでしょう。ただ、このことが、会員にうまく伝わっていない（メールでは伝えていますが、ハートに響かない）かもしれません。いろんなことが整備され、放っておいても回っていくようになったので、会員からの「いろいろな意見」が出にくくなっていることもあるかもしれません。

「会員登録を HP 上でできるように」については議論が必要ですね。以前の総会であった「名簿」についての議論と同様、個人情報保護の観点とサロン 2002 への GIVE の観点の両面から捉える必要があるでしょう。「自分の情報は出さないけど、他の人の情報は知りたい」というのはあり得ません。年に一度ぐらい、サロン 2002 の会員であることを自覚してほしいというのが「年に一度のわずらわしい作業」のねらいでもあります。「メンバーである」とはそういうことだと思います。

## 5. その他ーサロンメーリングリストについて

20 年度はメーリングリストサーバーが(株)カームネットから(株)IJJ に変更された。

メーリングリストへの登録者数は、2008 年 3 月 10 日時点で会費納入が確認できた 103 名である。

## VI. その他ー会員数と会費納入について

### 1) 会員数（川井運営委員）

20 年度の会員は、21.3.9 現在で 146 名になります。このうち、会費納入者は 103 名、未納者は 43 名になります。今後、集中的な督促をしなければなりません。

### 2) 会費の納入について

#### (徳田理事)

毎年問題になる会費の納入についてですが、口座振替（自動引落し）にしたいというのは以前からの希望ですが、その他の問題で、継続会員は別として会費の振込が遅れるのは、会費の対象期間が 4 月～3 月だからだと思います。

提案ですが、いっそのこと、新規会員については初年度の会費を無料にし、ただし、何月であっても入会時に翌年度の会費を納入してもらおう、というのはいかがでしょうか？



例えば、11月の月例会に参加した人がサロンに入会したいと思った場合、現行の制度だと次年度まで待つからということになり、忘れてしまう。これだと会員も増えず、会費も集まらない。こんな悪循環を解消するため、11月に新規で入会する場合は、即、HPから申込手続きを行い、会員登録をし、次年度の年会費を払ってもらおう。この時点で会員登録が完了し、ID、パスワードが知らされ回覧メールも使えるようになる。これならば、12月-3月の4ヶ月分は無料ということになりますが、いつから会員になるか考えずにすみます。

**(中塚理事長)**

サロン 2002 は「年度単位の会員制」としてありますが、「複数年度会員制度（仮称）」の導入については以前も議論があり、可能性を検討してよいと思います。そのためには「年度会費」の額を固定することが必要でしょう（いまは「一口いくら」の形であり、その人の状況に応じて会費納入額を変えられるようにしています）。その一方で、「年度ごとに更新手続きをとる」ことには大きな意義があると考えています。年に一度はサロンの会員であることを自覚し、当事者意識を持とうということです。そのための名簿更新と会費納入の手続きは重要だと考えます。

「面倒でない方法」「便利な方法」を探るのはよいのですが、ちょっとした不便さを乗り越えて、「それでもこのネットワークの一員でいたい」という人がメンバーであってほしいですね。

以上